

# 株式会社米倉製作所

大阪府大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 製品の生産現場や素材研究・開発分野で必要となる測定項目を“的確”に数値化する計測装置メーカー

- 世界唯一の超コンパクト半導体デバイス製造装置を産官連携により開発し、競争力強化と付加価値向上を達成
- 基礎知識を向上させ、将来の基盤をつくるために研究機関や大学に社員を派遣して専門技術者を育成
- これまで培った技術をミニマルファブ装置に投入して新製品を開発し、新たな未来を創造

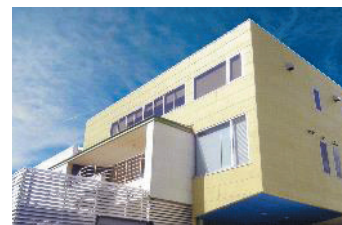
### 企業基本情報

所在地	大阪府大阪市此花区島屋 4-4-3
電話/FAX	06-6464-6066/06-6462-2128
URL	http://www.caty-yonekura.co.jp
代表者	取締役社長 大西 康弘
設立	1980年
資本金	3,500万円
従業員数	40人



### 会社概要

自動車部品の耐久試験や材料開発で新たに必要となる試験装置について、機械・電気・ソフトの3つの高い専門技術を組み合わせ、独創的な製品を提供している。最近では、集光加熱に観察機能や負荷機構を組み合わせたハイブリッドな装置で海外販売も展開。顧客のニッチな要求に的確に対応する性能、耐久測定や材料開発の分野から安全社会への貢献を目指している。



会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### ▶▶▶ 革新的なミニマル装置で商圏拡大と付加価値の向上に取り組む

同社の集光加熱炉は、チャンバーと一体化された構造が特徴で、2,000℃の高温その場観察を実現。この技術をさらに発展させ、優れた加熱効率を有する革新的なミニマル集光加熱炉の開発に成功した。ミニマル装置では、ハーフィンチウエハを採用し、多品種少量の半導体デバイスの生産性が大幅に向上できる。ミニマルシリーズ製品としての新たな市場参入による商圏拡大と「ミニマル認証」装置の販売によりブランド力を形成し、付加価値の大幅な向上に取り組んでいる。



クリーンエリア

#### ▶▶▶ 基礎知識の不足を補うために研究機関や大学に研究者を派遣して人材を育成

ミニマル装置開発は、半導体プロセス分野であり、被推薦企業にとって新たな業界への挑戦となる。基礎知識の不足を補い、足腰を固めるために研究者を各部門に送り込み知識を深め、知恵袋をつくる努力を進めている。

また、新たな取組として、プラズマ技術を応用したミニマル水プラズマアッシング装置の開発を大学と進める中心人物を育成。材料試験の分野でも新規に機械疲労試験機の開発を大学と進めている。



随時派遣技術者（相澤）とミニマル装置

#### ▶▶▶ ミニマル集光式酸化炉（1,300℃）の販売開始

自動車部品メーカーへの装置製作実績と高温その場観察の技術を合わせ、ミニマル集光式酸化炉 1,300℃を開発した。加熱速度は、1,000℃/min以上。熱効率を最大限に上げる集光リフレクターを採用し、消費電力は750Wと極めて小さい。噴き出し穴の工夫で成膜の均一性が向上し極微量のガスでプロセスを実現可能となった。ミニマル装置以外には、集光式加熱炉の汎用モデルとして1,500Wで2,000℃超えの超高温観察加熱炉を完成した。高度化する材料開発基礎研究の一層の促進に資することが可能となった。



ミニマル集光式酸化炉